

シート番号	7102-12	名 称	上総国札八十八ヶ所札所
分 類	記念碑	場 所	人見 青蓮寺
小 分 類	社寺関係碑	メッシュ番号	1815
年 号	和暦：平成元年 6 月吉日 西暦：1989 年		
形 状	自然石型		
サ イ ズ	本体：86×215×16 c m 台石の高さ：24 c m		
画像番号	7102-12-01		



上総国札八十八ヶ所札所

コメント；碑文は次ページです。

上総国札八十八ヶ所札所

第二十四番 青蓮寺（土佐国東寺移）

明星の中でぬるかたの ひがし寺

くらきまよひは なとかあらまじ

県史跡近江屋甚兵衛の墓（海山苔養信

士 弘化元年^{甲辰}九月十二日没七十九才）

で有名な寺 近江屋甚兵衛は、文政五^{壬午}

年当地で海苔養殖に成功し、普及に尽力した人物である。

青蓮寺は、新義真言宗豊山派の中本寺君津郡誌には末寺二十五個寺を管すと記録されており、本堂、庫裡、鐘楼などが境内に点在し、山頂には観音堂がある。

往時は、山城国醍醐派報恩院の末寺でしたが、明治十年に分離している。天文九^{庚子}年正月九日に全焼し、旧記悉く焼失しており、開基年月由緒等不詳である。

しかし乍ら、富津市小久保の新義真言宗智山派中本寺真福寺の過去帳に嘉録元^{乙酉}年九月二十五日慈円慈鎮和尚を初祖とするとの記録がある。

徳川幕府時代には朱印寺領五石を領し又、妙見大菩薩の別当職でもあった。

後西院天皇の萬治年間宥永上人が伽藍を建造し、これを中興と称している。

明治三年火災に遭い堂宇は灰となり、また、明治四十三年八月十一日には、後背の丘陵が崩壊し本堂が倒壊、その後小柴眞海和尚は再建を企て、本堂は大正元年十二月、庫裡は大正三年六月に各々竣工したのである。

現在の堂宇については、観音堂は昭和四十三年新築、庫裡は昭和四十五年新築本堂は昭和五十年に大改修、鐘楼は昭和五十五年に再建されたものである。

青蓮寺本堂には三十数枚のみごとな天井絵があり、これが描かれた年代ははっきりしませんが一見の価値があります

本堂 御本尊 阿弥陀如来

不動明王

観音堂 御本尊 十一面観世音菩薩

妙見大菩薩

平成元年六月吉日 昭道代

寄進者

光 相模屋海苔店